

令和4年度 第4回岐阜支部評議会概要報告

開催日時	令和5年3月7日(木) 9:58~11:18
開催場所	濃飛ビル15階 会議室
出席評議員	永田評議員(議長)、梅津評議員、土屋評議員、川本評議員、 村瀬評議員、近藤評議員、大杉評議員、佐伯評議員
議題	令和5年度岐阜支部事業計画について
議事概要 (主な意見等)	<p>評議員9名中8名が出席 各議題について事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下のとおり。</p> <p>令和5年度岐阜支部事業計画について(資料1)</p> <p>【学識経験者】 生活習慣病予防健診実施率と事業者健診データ取得率の KPI が修正された理由について教えてほしい。 <事務局> 令和5年度から生活習慣病予防健診の自己負担額が軽減されることにより、生活習慣病予防健診の利用者が増え、相対的に事業者健診データ取得率が下がると見込んでいた。そのため、前年度以下の数値を設定していたが、本部より前年度の目標以上の数値を KPI として設定する旨指示があったため修正を行った。</p> <p>【事業主代表】 岐阜支部がインセンティブ制度において全国1位となり、健康保険料率の引き下げにつながった成果をもっと広報してはどうか。 <事務局> 岐阜新聞(3月24日朝刊)に健康保険料率の広報と合わせて議長と支部長の紙上対談形式で掲載予定である。</p> <p>【被保険者代表】 特別枠の「レセプトデータを基にした調査分析」は承認されなかったが、後日事業内容を精査したうえであらためて申請すると令和5年度予算として認められるのか。 <事務局> 認められない。</p> <p>レセプト点検・債権回収について(資料2)</p> <p>【学識経験者】 加入者は保険証が資格喪失していることを認識せずに使用しているのか。</p>

<事務局>

大半は退職により資格が切れることを知らない場合が多い。そのため、誤って保険証を使用しないよう、退職後に速やかに保険証を回収する、またはマイナンバーカードの保険証利用推進の取り組みを今後も引き続き続けていく。

【事業主代表】

債権回収は外部に委託しているのか。また、岐阜支部の債権回収率は全国と比較してどうか。

<事務局>

債権回収は岐阜支部職員が担当している。また、岐阜支部の債権回収率 78.6%は全国平均よりも高い。

【被保険者代表】

無効となった保険証の回収について加入事業所と連携しているのか。

<事務局>

事業所は資格喪失届を提出する際に加入者の保険証を回収し、添付することになっており、事業所の協力により多くの保険証は回収できる仕組みとなっている。

【被保険者代表】

マイナンバーカードを利用できる岐阜県内の医療機関・薬局はどの程度あるか。

<事務局>

県内でのマイナンバーカードの発行状況は約6割程度、カードリーダーを設置している医療機関は55%が設置済みで運用を開始している。

特定健診・特定保健指導について(資料3)

【学識経験者】

将来の財政状況の見通しが厳しい中、生活習慣病予防健診等の自己負担額を軽減した理由について教えてほしい。

<事務局>

今後少しずつ赤字幅が拡大する見込みではあるが、現状準備金が積みあがる中で加入者の健康に資することが何かできないかと検討した案である。金額的には協会けんぽの財政にそこまで大きな影響を与えるものではない。

【学識経験者】

胃部レントゲン検査は国の指針で現在 50 歳以上が推奨年齢とされているので、任意で選べるようになれば健診を受ける方が増えるのではないかと。

<事務局>

協会けんぽとしてはセットでとなっているが、ご意見をいただきましたので本部に伝えます。

特 記 事 項

・傍聴者なし

・次回開催は令和5年7月の予定